

# 日本循環器学会 第107回中国地方会 受賞報告

初期臨床研修医 1年目 古志野 海人



2015年11月28日に広島アステールプラザにおいて日本循環器学会第107回中国地方会が開催され、同学会の研修医セッションにて優秀演題として表彰いただきましたのでここに報告します。

私が発表した演題は、「低カリウム血症と完全房室ブロックに伴うQT延長からTorsades de pointesによる失神を起こした1例」というタイトルです。心電図でQT時間が延長することでTorsade de pointesなどの致死的な不整脈のリスクが増加することはよく知られています。二次性にQT時間を延長させる要因としては、完全房室ブロックなどの徐脈、低カリウム血症などの電解質異常、抗不整脈薬などの薬物の使用など様々な要因があります。今回発表した症例では完全房室ブロックによる徐脈がもともとあり、さらに低カリウム血症となったことでQT時間が著明に延長したことが原因でした。治療としては血清カリウム値の補正とペースメーカー植え込み術を行い、無事退院されました。

今回の症例は私の初期臨床研修が始まって間もないうちに、循環器内科での研修中に経験した症例であり、初めての学会発表となる症例でした。指導医の森田先生のもと、アドバイスをいただきながら抄録を作り、スライドを作り、予行演習をし、発表まで漕ぎ着きました。人生初の学会発表は全28題中最後から3番目と、会場も熱を帯び、フロアからの質問も活発になってきている状況でした。他の発表者に次々と投げかけられる質問を聞きながら、自分はうまく答えられるだろうかと不安と緊張でいっぱいでしたが、事前に予行演習会で指導医の先生方と質問に対する返答を考えた甲斐があり、なんとか答えることができました。

昨年4月から研修医として働き出し、各科の指導医の先生やコメディカルの皆様、そして患者さんに日々の診療で多くのことを教わっています。今回の発表はそんな日々の臨床での経験を学術的な発表にまとめるという大変貴重な機会であり、学会発表のやり方を学ぶとともに、より深く疾患について学ぶことができました。ご指導いただいた循環器内科の先生方、そして発表にかかわったすべての皆様にこの場をお借りして、改めてお礼を言いたいと思います。

